

# 寺報

No.613

平成30年9月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

世よに四恩しおんあり、之これを知るを人倫じんりん  
となづけ、知らざるを畜生ちくじやうとす。

『聖愚問答鈔』

収獲



### (解説)

四恩とは、父母の恩・国の恩・衆生の恩・三宝の恩の四つの報恩をいいます。

まずこの世に我々を誕生させてくれました『父母』の恩を、忘れてはいけません。

そして、この日本の『国』があつて初めて、日本人として安心に暮す事が出来るのです。

また、『衆生』とは生きとし生けるもの全てをいうのですが、これらの【いのち】には必ず何らかの繋がりがありますから、その恩も大切にしなければならぬのです。

最後の『三宝』の恩とは、仏・法・僧の恩をいい、我々がお釈迦様と法華経と日蓮大聖人に感謝し、常に信仰し続けていく事で、この四つの恩を全て報ずる事が出来るという意味があります。

お釈迦様も「我々はこの世のさまざまな縁によつて生き、そして生かされている事を知らなければならぬ」と教えられ、その為には報恩というものがいかに大切であるかをお説きになりました。

どうか、皆様はこの日蓮大聖人の教えをしっかりと守り、法華経・お題目の信仰を持ち、報恩感謝の心を忘れないようにして戴きたいと思ひます。

# 『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十日(木)・二十三日(日)・二十六日(水)

場所・小本堂

## \*法 要

午前八時より午前九時まで

## \*法 話

約十分間

	お経・・・・訓読	法 話
二十日	序品第一・方便品第二・ 欲令衆	加藤曉宏上人
二十三日	提婆達多品第十二	住 職 上 人
二十六日	如来神力品第二十一	埜 上 人

②『秋彼岸会』の法要は三日間ですが、ご先祖と仏様のご供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

# 大切なお題目受持

# 秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈(僧侶が唱えます)
- 一、勸 請(導師が唱えます)
- 一、開経偈(無上甚深)
- 一、お 経(日程表をご覧下さい・日本語読み)
- 一、運 想(唱え奉る妙法は)
- 一、お題目(南無妙法蓮華経)
- 一、宝塔偈(此経難持)
- 一、回 向(導師が唱えます)
- 一、お題目(南無妙法蓮華経・僧侶は供養の読上)
- 一、お 経(如来寿量品第十六・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華経)
- 一、付回向(導師が唱えます)
- 一、四 誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱
- 法 話・・・約十分間

③お経は要品の訓読(日本語読み)ですので、お経本はお寺でお求め下さい。

以上

# お寺からのお知らせ

## \*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

## \*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がります。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

ご先祖様へ  
ご先祖供養しよう

# 檀信徒研修会のお知らせ

九月二十九日(土)

## 聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

☆『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

\*お題目は七百回以上唱えられます。

時 間・午後七時より

場 所・小本堂(④イス席になります。)

持参品・聖典(お経本・事務所にて)・数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目を唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

# 『提灯』の募集!

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トローラー)を限定で一個募集致します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

# さい じょう いな り たい さい 最上稲荷大祭

九月二十二日(土)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という言葉は元々稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となりました。



- \* 祈 願 . . . 八百円
- \* 御法楽 . . . 八百円
- \* 御神体御法楽 . 千円

◎「御祈願・御法楽」をお申し込みの方に『お札』を差し上げます。  
◎御神酒・お供物も受け付けます。

## 最上稲荷様

稲荷という言葉はイネナリ・イネニナルが転化したもので、稲荷様は本来『稲の神』であり『農業の神』といわれます。

それが後に、商売繁盛・開運の神となったのです。昔からキツネを眷属(お使い)としたのですが、いつの間にか稲荷の御神体がキツネであると、間違って信じる人が増えてきたのでした。

キツネはその神秘性から霊獣と見なされ、また春に山から下りて秋に去っていくところから『田の神』の先触れとされ、やがて農業の神とキツネが結びついたものと考えられます。

日蓮宗でお祀りする稲荷様は、その位が一番高いというところから最上位に位置され、『最上稲荷』様とい、正しくは『最上位経王大菩薩』として信仰されています。

経王とはお釈迦様の説かれたお経の中の王様、つまり法華経の事です。法華経で説かれた【御本仏】様のお姿をお借りして、我々を救済してくれる一番位の高い菩薩様という意味となります。

## 『先住民族の供養塔』 建立さる！

この青森の地に、古来より住んでいました「先住民族」の供養の為に、境内に建てられていましたお塔婆が雪害で折れてしまいました。

そこで、今般新たに丈夫な石の供養塔として建立し、境内に安置しました。合わせて、「当山に縁する処の頼る処の一切の諸精霊」も、彫り込み共に御供養する事にしました。

八月一日、住職上人導師の元、参列の檀信徒の皆様と共に開眼法要が厳修されました事をご報告致します。



ご協力戴きました「杉淵石材店」に感謝致します。

# 九月の行事

- 一日(土) 『盛運祈願会』 午後一時より
- 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・檀信徒の皆様は必ず【霊神符】をお持ち下さい。



十三日(木) 『日蓮大聖人ご命日』 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)  
如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

『秋彼岸会』 三日間  
二十日(木)・二十三日(日)・二十六日(水)

【法 要】午前八時より  
『秋彼岸会』は2ページの日程表をご覧ください。

二十二日(土) 『最上稲荷大祭』 午後一時より

二十九日(土) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十九日(土) 檀信徒研修会『唱題行』午後七時より  
②どなた様もご自由に参加して下さい。

## ☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』  
二十日(木)～二十六日(水)迄の一週間

③『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時～七時半頃迄】、夕【午後三時～五時頃迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間までにご集合下さい。

お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出下さい。

二十二日(土) 『最上稲荷大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より  
教宣部女性 昼十二時より

\*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

④各役員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。

◎奉仕部長・山田兼補◎伝道部長・小野正春  
◎教宣部長・杉淵昌三

## 『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、九月二十三日(日)の中日、午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。  
時間は三十分程です。

## 霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。  
日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。  
なお宗旨・宗派は問いません。 ☎776-5840  
【ご相談料は一件につき三千元です】

## 『位牌壇』募集中!

- ★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡りご供養されていきます。
- ★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。
- ★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。
- ★最近、仕事などの関係から家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、位牌堂に位牌を預かり、青森に帰省した時にお参りするという方もいます。
- ★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

## 『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。  
その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。  
会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

# あき ひ がん え 秋 彼 岸 会

二十日(木)・二十三日(日)  
二十六日(水)の三日間

於：小本堂

法 要・・・午前八時～九時まで

- \* 『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。  
残り四日間のご供養は「朝のお勤め」で拝みます。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位・・・・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂・・・・3,500円

\*法要に参列し、お経・お題目を唱えましょう！